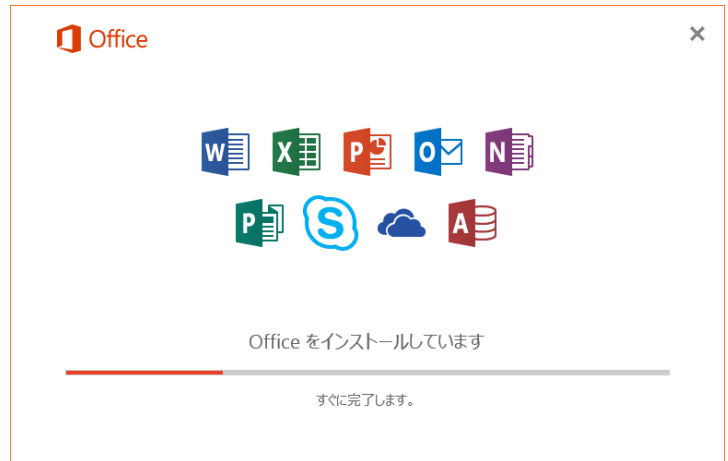


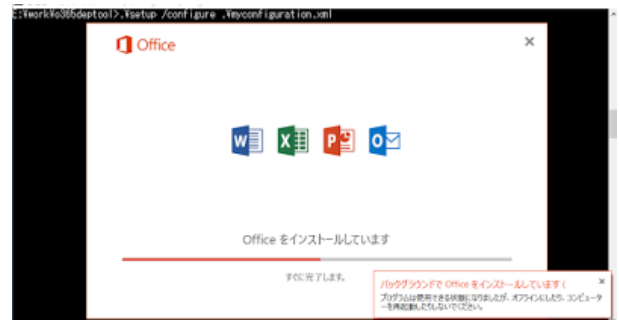
Windows 版の Office 2016 は、現時点でクイック実行 (Click to Run: C2R) 形式しかありません。

Office 2013 は Office 365 ProPlus やパッケージ製品は C2R 形式で、MSDN サブスクリプションおよびボリュームライセンス (VL) 経由でのみ従来 (Office 2010 以前) の MSI 形式で提供されました。

C2R 形式についてここで詳しく説明しませんが、「インストール時にインストールするアプリケーションを選択できない」「更新プログラムが Microsoft Update ではなく、C2R に組み込みの方法で都度提供され、常に最新版を利用できる」といった点が MSI 版との大きな違い。



実は、Office Deployment Tool を使うと、C2R でも特定のアプリケーションを選択的にインストールできます。上の画面は、MSDN の Office Professional Plus 2016 を通常の方法でインストールしたところ。下の画面は、Office Professional Plus 2016 の Word、Excel、PowerPoint、Outlookk だけをインストールしているところ。



Office 2016 用の Office Deployment Tool はこちらから。

Office 2016 Deployment Tool

[URL] <http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=49117>

Office 365 ProPlus の場合は、ExcludeApp を記述した configuration.xml を作成して、`setup.exe /download configuration.xml`、`setup.exe /configure configuration.xml` を実行することで、C2R インストール ソースのダウンロードと指定したアプリケーションのインストールが可能です。

追記: Office 365 Solo は既にポータルから Office 2016 をインストールできるみたい。まだポータルが Office 2016 に切り替わっていない Office 365 サブスクリプションでも、Office Deployment Tool を使うと Office 2016 をインストールできます。

さらに追記: Office 365 ProPlus の Office 2016 バージョンへの自動アップグレード、および Office ポータルでの提供は 2016 年 2 月に開始されるそうです。それ以前に Office 2016 ベースの Office 365 ProPlus にアップグレードまたは新規インストールしたい場合は、Office Deployment Tool を使うそうです。→ Understand how long you can continue to use the Office 2013 version of Office 365 ProPlus (<https://technet.microsoft.com/en-us/library/mt422981.aspx>)

MSDN サブスクリプションの Office Professional Plus 2016 の場合、ISO ファイルには C2R のインストール ソースが入っています。ですので、setup.exe /download の実行は必要なし。例えば、ISO ファイルの中身を E:¥work¥office2016 にコピーし、以下のような configuration.xml を作成して、setup.exe /configure configuration.xml を実行すれば、Office Professional Plus 2016 のアプリケーションを選択的にカスタムインストールできます。

<Configuration>

```
<Add SourcePath="E:¥work¥office2016" OfficeClientEdition="32">
  <Product ID="ProPlusRetail" >
    <Language ID="ja-jp" />
    <ExcludeApp ID="Access" />
<!--    <ExcludeApp ID="Excel" />
    <ExcludeApp ID="InfoPath" />
    <ExcludeApp ID="Lync" />
    <ExcludeApp ID="Groove" />
    <ExcludeApp ID="OneNote" />
<!--    <ExcludeApp ID="Outlook" />
<!--    <ExcludeApp ID="PowerPoint" />
    <ExcludeApp ID="Project" />
    <ExcludeApp ID="Publisher" />
    <ExcludeApp ID="SharePointDesigner" />
<!--    <ExcludeApp ID="Word" />
  </Product>
</Add>
</Configuration>
```

この例は、Word、Excel、Outlook、PowerPoint だけをインストールします。Lync は Skype for Business、Groove は OneDrive for Business の除外設定です。

参考:

Reference for Click-to-Run configuration.xml file > ExcludeApp Element
[URL] [https://technet.microsoft.com/en-us/library/jj219426\(v=office.15\).aspx#BKMK_ExcludeAppElement](https://technet.microsoft.com/en-us/library/jj219426(v=office.15).aspx#BKMK_ExcludeAppElement)

Product ID に **ProPlusRetail** と指定することで Office Professional Plus 2016 としてインストールされます。VL 版の場合は **ProPlusVolume** とすればいいはず (たぶん)。Office 365 サブスクリプションがある場合は、**O365ProPlusRetail** です。その他の SKU についてはカッツアイ。

参考:

Product IDs that are supported by the Office Deployment Tool for Click-to-Run

[URL] <https://support.microsoft.com/en-us/kb/2842297>

なお、MSDN の Office Professional Plus 2016 の Product ID が **ProPlusRetail** で正しいのかどうかは分かりません。想像でやってみたところ、ちゃんと Office Professional Plus 2016 としてインストールされました。